News Release

すこやかな毎日、
ゆたかな人生
Glico

江崎グリコ株式会社
https://www.glico.com/jp/

2026 年 11 月 19 日

大阪府と公民連携による健康イベント「オフィスでもちょうどいい糖質ケア TRIAL」を開催

～大阪府が推進する「V.O.S.」メニューに登録されたランチを食べながらセミナー実施～

江崎グリコ株式会社は、社員の健康をランチで支えるデリバリー型社食「SUNAO デリバリー」の 1 メニューが 2026 年 10 月に大阪府より「V.O.S.」メニューの承認を受けたことを機に、大阪府と共催で健康イベント「オフィスでもちょうどいい糖質ケア TRIAL」を開催します。



「オフィスでもちょうどいい糖質ケア TRIAL」は、2026 年 11 月 24 日（火）～11 月 30 日（月）の期間に、オフィスワーカーの健康を食事から考える法人向けイベントです。健康セミナーや指先を測定機器に入れるだけで AGEs（最終糖化産物）が測定できる体験、さらに、「SUNAO デリバリー」を提供して、食べて楽しみながら学ぶことができます。今回の参加対象は健活おおさか推進府民会議に参画する企業です。

本取り組みを通じて、江崎グリコは大阪府や参加企業とともに、オフィスランチを切り口にオフィスワーカーの健康意識を高めることを目指します。

■「オフィスでもちょうどいい糖質ケア TRIAL」実施概要

●実施期間：令和 8 年 11 月 24 日（火）～11 月 30 日（月）※土日を除く
※参加企業は上記の日程の中から希望する 1 日に実施

●時間：12:10～12:40（予定）

●参加企業：健活おおさか推進府民会議の参画企業を対象に募集して決定した最大 5 社

●場所：各参加企業のオフィス内（会議室・食堂等）

●実施内容：

①参加者に「SUNAO デリバリー」のランチ 1 食を提供

②提供したランチを食べながら食事に関する健康セミナーを実施（20 分程度）
③食後に AGEs 測定を体験（お一人あたり 3～5 分程度）

●参加人数： 1 企業につき最大 30 名
●参加対象者：参加企業の社員の方
●参加費：無料

■「SUNAO デリバリー」とは

本サービスは法人契約によるデリバリー型社食です。管理栄養士監修の栄養バランスにこだわったランチを日替わりのメニューでお届けするほか、契約された企業にて糖質に関する健康セミナーや老化物質ともいわれる AGEs の測定体験といったイベントも実施することで、社員の健康意識を高める取り組みもセットで提供します。また、企業の福利厚生として契約をすることで、社員は 1 食あたり 599 円（税込）で「SUNAO デリバリー」を社食ランチとしてキャッシュレスで利用することができます。

ランチを注文する流れとしては、利用したい社員個人がそれぞれの LINE アプリを通じて前日 13 時～当日朝 9 時までに注文すると、当日の 12 時までに指定の場所までお届けします。ランチのメニューは主食、主菜、サラダを組み合わせ、食材や調理を工夫することで、満足できるボリュームとおいしさに仕上げているうえ、管理栄養士の監修のもと、「適正糖質※1」に基づいて 1 食の糖質量が 40 g 以下に設計し、塩分も 1.5g 未満に抑えています。米飯メニューにおいては 1/2 日分のたんぱく質※2、パスタメニューは 1/2 日分の食物繊維※2 が摂取できるようにこだわっています。



オフィスワーカーの健康をサポートするとともに、導入企業の健康経営や社員のエンゲージメント向上に貢献してまいります。

※1：一般社団法人「食・楽・健康協会」は 1 食で摂取する糖質量を 20～40g、間食では 10g 以下にする「適正糖質」を提唱しています。
※2：栄養素等表示基準値より

■V.O.S.とは

大阪府は、府民の健康寿命延伸をめざし、健康的な食環境整備の推進を目的に野菜・油・塩の量に配慮したヘルシーメニューとして「V.O.S.メニュー」を推奨しています。府内の飲食店や惣菜店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等の外食メニューや持ち帰り弁当、学生食堂や従業員食堂等の特定給食施設等で提供されるメニューに V.O.S.の普及を図っています。

V.O.S.メニューの基準
V：野菜（Vegetable） 120g 以上（きのこ・海藻含む。いも類は含まない。）
O：適油（Oil） 脂肪エネルギー比率 30%以下
S：適塩（Salt） 食塩相当量 3.0g 以下



■「ちょうどいい糖質ケア」とは



「ちょうどいい糖質ケア」とは、体に必要なエネルギー源である糖質を正しく理解し、おいしい食事を楽しみながら糖質とうまく付き合うことを目指すアクションです。我慢や極端な制限ではなく、「適正糖質※1」の考え方を元に毎日の食事の中で無理なく続けられる“ちょうどいい”付き合い方を、「知る・測る・食べる」の体験を通じて提案します。

「ちょうどいい糖質ケア」の取り組みとしては、11 月 14 日の「World Diabetes Day（世界糖尿病デー）」に合わせ、自治体や地域団体、企業の協力を得て、11 月 12 日（木）～14 日（土）に TAKANAWA GATEWAY CITY で、11 月 19 日（木）・20 日（金）に JR 大阪駅周辺 3 拠点にて体験イベントを開催。糖質にまつわるクイズや、測定機に指先をセットして体内の「AGEs（最終糖化産物）」を測定できるブースを用意し、「知る・測る・食べる」の体験を通じて、日常生活で無理なく続けられる糖質ケアを提案しています。なお、今回の「ちょうどいい糖質ケア TRIAL」は本アクションの法人向け取り組みとして実施します。